

東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第13回学術フォーラム

Forum for Interface Oral Health Science

歯科補綴の4つのインターフェース
- occlusal interfaceとブラキシズムを中心に-

古谷野 潔 教授

九州大学大学院 歯学研究院

口腔機能修復学講座 咀嚼機能再建学分野

平成18年3月9日(木) 16:30 ~ 17:30

歯学部A1セミナー室(歯学部基礎棟1階)

抄録:

本セミナーは、東北大学歯学研究科で推進しておられる「インターフェイス口腔健康科学」に基づく学術フォーラムとして行われる。演者は、たまたま同じkey wordである「インターフェース」を掲げた歯科補綴領域の国際シンポジウムに参加したので、その内容と考え方を紹介すると共に、シンポジウムで演者が発表した内容についても併せて紹介する。このシンポジウムは、トロント大学歯学部のZarb教授の呼びかけにより、"On Biological and Social Interfaces in Prosthodontics"というタイトルで2002年11月トロントにおいて開催されたもので、そのProceedingはInternational Journal of Prosthodonticsに掲載されている。

4つのインターフェースとは、1. Patient-Prosthodontist 2. Host-Implant 3. Prosthetic Material-Oral Tissue 4. Occlusal Interface である。世界中からノミネートされた30名余りのシンポジストに、シンポジウムの約1年前に各々のインターフェースに関するトピックが与えられ、各シンポジストによる各トピックに関する文献レビューが事前に参加者に配布され、各参加者があらかじめ内容について吟味した上でシンポジウムに参加し、議論するというformatで行われた。

演者は、このシンポジウムのOcclusal Interfaceの中でBruxismと補綴に関するトピックを与えられた。講演ではこのトピックに関する文献レビューおよびブラキシズムとオクルーザルスプリントに関する教室での研究についても紹介する。

連絡先: 第13回モデレーター 渡邊 誠 (内線 8394)
研究推進企画室長 高田春比古 (内線 8305)
副研究科長 高橋 信博 (内線 8294)